

夏カゼについて

今年はアデノウイルスが先に流行しています。
発熱が5日前後続きます。

突然38-39℃の高熱、ノドの痛みが特徴です。
ウイルスですから抗生物質が効きません。

アデノウイルス感染症のうち、ノドと目が真っ赤に腫れあがる病気が俗に言う「プール熱」です。正式名は咽頭結膜熱です。



その他の夏カゼで有名なのは、手足口病とヘルパンギーナです。
この地域では今年はまだ流行していません。

ヘルパンギーナは3日間発熱が続くことがあります。
この2つのカゼもウイルスが原因のため抗生物質は効きません。



ヘルパンギーナであれば漢方薬で早く解熱させることができます。
葛根湯(かっこんとう)、麻黄湯(まおうとう)、桂枝湯(けいしとう)、
越婢加朮湯(えっぴかじゅつとう)、麻杏甘石湯(まきょうかんせきとう)を使えば発熱期間を短くすることができます。

例えば、10kgのお子さんなら・・・

麻黄湯0.2g/1日3回食前

これを3時間おきに飲む(寝ている時間を除いて)
飲める子は2時間おきでも可です。
汗をかく、おしっこが出る、37.5℃以下になるまで5-6回
続けて下さい。
うまくくと6回飲むまでに1度解熱してきます。
解熱しない時は次の手をうちます。



外来での相談について

カゼで受診される方が圧倒的に多いのですが、
それ以外の相談は何が多いのでしょうか？

- 皮膚のこと→湿疹 アトピー性皮膚炎
- アレルギー性鼻炎
- 気管支喘息
- 食物アレルギーとアレルギー関連の相談が多いです。



あとは、成長発達、低身長、夜尿症の相談が多いです。

そけいヘルニア(脱腸)、出べそ(臍ヘルニア)も時々あります。
何でも相談して下さい。

必要であれば専門医を紹介します。



お知らせ

●小児夜間救急当番日

7月1日(金)、8月12日(金)、9月2日(金)
19:30-22:30(受付) 岐阜市民病院にて